

1. 小中一貫教育について

1-1 小中一貫教育とは

義務教育9年間（小学校6年、中学校3年）を通して、児童生徒の発達段階に応じた系統的・継続的な学習指導や生徒指導を行うことや、一貫した切れ目ない相談・支援体制の構築により、学力の充実・向上を図るとともに豊かな人間性や社会性を育み、「将来の夢を持ち、自己実現に向けた努力ができる子ども」を育成する教育です。

1-2 小中一貫校とは

宇治市内には、施設一体型の小中一貫校と施設分離型の小中一貫教育校の2種類があり、西小倉地域では、同一敷地内に小学校と中学校の施設が一体となった、施設一体型の小中一貫校の整備を計画しています。小学校と中学校の各指導内容を9年間のまとめりとして捉え、系統的・継続的な学習指導を推進します。

施設一体型の小中一貫校の特徴としては、小学生にとっては、普段の学校生活の中に、中学生がいることで憧れが芽生え、また中学生にとっては自分が小学生の目標となるよう自覚が生まれることで、自己有用感や自尊心が育まれ、穏やかな学校風土を創り出すと考えています。

さらに、中学校スタート時から子ども同士のつながりが深いことで、特別な配慮を要する生徒間の相互理解が進むと考えています。

1-3 何故、西小倉地域で小中一貫校を作るのですか

①西小倉地域（西小倉小、北小倉小、南小倉小学校区）の児童生徒数が減少し、単学級化（1学年1学級）が進んでいる状況があること

②令和元年12月に地域を主体として発足した「西小倉地域の小中学校のあり方検討委員会」からの、3つの小学校（西小倉小学校・北小倉小学校・南小倉小学校）と西小倉中学校を統合し、小中一貫校として新設の学校の整備を求める要望が出されたこと

こうした状況、また宇治市の小中一貫教育の取組みを踏まえ、本市2校目の施設一体型小中一貫校となる（仮称）西小倉地域小中一貫校の整備に向けて検討を開始し、令和3年8月に開校場所を西小倉中学校敷地に決定し、令和8年4月の開校を目指すこととしています。

1-4 小中一貫校は必要なのですか

現在、市内には施設一体型小中一貫校は宇治黄檗学園の1校のみで、他の地域では施設分離型の小中一貫教育校として小中一貫教育を推進しています。

義務教育の貴重な9年間を、学びと育ちの連続性の中で、子どもが育まれていくという小中一貫校の存在意義は大きいものと考えており、一貫校の方が、小中一貫教育をより効果的に実践しやすいと考えています。

1-5 開校場所を西小倉中学校としているのは何故ですか

地域主体の西小倉地域小中一貫校開校準備協議会において、校地や通学、学校生活等について協議をいただき、その協議内容も踏まえ、敷地面積が最も広い西小倉中学校を開校場所として決定しました。

1-6 卒業式、入学式などの行事はどのようになるのですか

現在と同様に、小中学校の卒業式、入学式の実施を予定しています。今後、小中学校が交流をして実施する行事など、学校と決めていきます。

2. (仮称)西小倉地域小中一貫校の施設について

2-1 施設の特徴は

校舎棟の中心に中庭がある回廊型の校舎、中庭との一体利用が可能な1Fの交流ホール、2F～4Fのメディアセンター・commons、ゆとりある教室空間、複数の屋内運動施設など、新しい時代の教育にふさわしい施設整備を実施しています。また、ZEB Oriented (※6-2に説明あり)を取得した環境へ配慮した施設整備を計画しています。

2-2 他の市内の学校との違いは

人工芝を敷いた中庭、廊下から自由な出入りを促すメディアセンター(学校図書館)、各階のcommonsは、市内で初めての施設整備となります。また、普通教室の面積は72㎡あり、これまで(約64㎡)より広い空間となります。なお、ZEB Orientedを取得した公共施設は市内で初めてです。

2-3 施設の設計の検討はどのように行ってきましたか

令和4年1月から設計業務を開始し、併せて西小倉地域小中一貫校整備検討委員会学校部会において、学校の施設整備等について議論・検討をいただき、また地域・保護者・教職員等の説明会・意見交換を行い、施設の設計についての検討を進めてきました。

2-4 グラウンドはどのようになりますか

屋外の運動スペースとして、メイングラウンド、サブグラウンド、テニスコート、屋外プレイエリア(敷地北西)を整備します。加えて屋内運動スペースとして、第1体育館、第2体育館、武道場を整備します。小中学生の体育の授業、部活動については、それらのスペースで実施します。また、学校全体が児童生徒の活動スペースであり、中庭などの活用もいたします。

2-5 敷地外に第二グラウンドが必要ではないですか

小中学生の体育の授業、部活動については、敷地内のメイングラウンド等で十分に実施できますので、第二グラウンドの整備は考えておりません。

2-6 屋外遊具で子どもたちが遊ぶ時に、教職員の目は行き届きますか

現在もグラウンド等での活動時に教職員が見回りを行うことがあり、同様の対応を出来る限りの範囲内で実施するように考えており、運営面は学校と決めていきます。ただし、校内で児童生徒が活動する全ての場所に常に教職員がいるということではありません。(他の小中学校同様)

2-7 防災機能面はどのようになりますか

小中一貫校は災害時に避難所となることを想定し、第1体育館を2Fに配置し、水害の対応に備えます。また、停電時には一定の体育館の電力を確保できるようインバーター式の発電機を設置できるようにし、屋上のプールの水をトイレの洗浄水にするなど、災害対応の計画をしています。また、マンホールトイレをはじめ、必要な防災備品類等の備蓄を予定しています。

2-8 特別支援学級を小学生は2F、中学生は4Fの配置にしているのは何故ですか

特別支援学級の配置につきましては、通常学級との交流を行いやすい教室配置としています。

2-9 トイレの場所はどのようになっていますか

校舎棟の北側・西側、アリーナ棟の東側にトイレがあります。学校活動面で不足がないように、トイレの個数を決めています。また、校内に5箇所の多目的トイレの配置を計画しています。

2-10 手洗いの場所はどのようになっていますか

各トイレ近くに手洗いを配置し、校舎棟のトイレ前、コモンズ内に広めの流し場を配置する計画です。グラウンド等へも手洗い・足洗い場を配置する計画です。

2-11 給茶機はありますか

2Fと3Fのコモンズに給茶機の設置を計画しています。給茶機とは、蛇口からお茶が出る設備です。

3. 開校・工事スケジュールについて

3-1 開校時期はいつですか

令和8年4月を予定しています。

3-2 開校は小学校・中学校同じですか

開校（新校舎の使用）は、小中学校同時を予定しています。

3-3 工事スケジュールはどのようになりますか

令和5年秋頃から、工事車両が敷地内に進入するための仮橋（井川に架ける橋）を敷地南側に設置する工事に着手し、令和6年1月以降から、新校舎建築工事の実施を予定しています。詳細な工事スケジュール等が決定した段階で、引き続き皆様へご説明・お知らせをしていきます。

3-4 仮橋とはどのような内容ですか

工事期間中に児童生徒と工事車両の動線を分けるために設置します。原則、工事車両は仮橋を使用して、敷地内に進入します。車両の大きさなどの理由で仮橋の使用ができない場合には、安全に配慮した上で、東門を使用します。

3-5 サブグラウンドの整備はいつですか

現武道場の跡地をサブグラウンドに整備する計画であり、令和8年4月の開校までにサブグラウンドを整備する予定です。

3-6 開校時（R8.4）に屋外のグラウンド等がありますか

開校時には、サブグラウンド、屋外プレイエリア（敷地北西）、北側エリアが完成している計画です。

3-7 開校後（R8.4）の工事はどのような内容ですか

開校後に、現在の校舎棟・体育館棟などを解体し、メイングラウンド・テニスコート等の整備を行います。全体として1年半程度の工事期間を予定しています。

3-8 小学校の開校を遅らせることは考えないのですか

小中一貫校の整備は、長年の地域の願いと認識しています。また、近年の児童生徒数の減少で、単学級化（1学年1クラス化）が増加してきており、多くの友達と触れ合い様々な刺激を受けて育つ環境の維持として、少しでも早く子どもの学びと育ちの環境を整えるため、早期開校に向けて取り組んでいます。開校後に解体工事の影響は少なからずありますが、それ以上に安全面に考慮するのは当然の事ながら、子ども達の活動場所として中庭・屋外プレイエリア（敷地北西）、サブグラウンド、今後調整予定ですが休み時間における第1体育館・第2体育館・武道場の開放なども想定しており、加えて各階のコモンズやピロティ、ホワイエなど子どもたちが活動できるスペースを整備します。これらを踏まえ、小中一貫校ならではの異学年交流や、魅力溢れた施設を1日でも早く新たな学びの場として活用したいと考えています。

4. 工事中の学校運営について

4-1 工事中の児童生徒の安全は確保されますか

工事中は、児童生徒の活動エリアと工事エリアを分けます。また、工事車両等については、敷地南側の仮橋を使用して敷地内に進入します。児童生徒の安全を第一に工事を実施します。

4-2 工事中の騒音などはどのようになりますか

工事を行う建物の周囲には防音シートを設置し、大きな音の出る作業は可能な限り授業時間外で調整するなどの対策を行います。

また、解体工事においては、解体機械・解体順序の検討を行い、可能な限り騒音対策に努めるとともに、学校のカリキュラムにも配慮し、学校教育活動に支障が出ないように努めます。

4-3 工事中の体育・部活動はどのようになりますか

令和6年1月～令和8年3月までの工事期間中の体育については、近隣の小学校(西小倉小学校・南小倉小学校)のグラウンド等を使用する調整をしています。また、部活動については、近隣の小学校に加えて、巨椋ふれあい運動広場などの公園施設の使用について調整をしています。

次に、令和8年4月開校後のグラウンドの使用については、旧校舎の解体工事及びメイングラウンドを整備している期間中に、近隣の小学校等のグラウンドの使用を予定しています。

4-4 建築・解体工事で騒音の大きい工事はどのような内容ですか

工事内容により出る音に違いはありますが、建築工事の足場の組立て時・ばらし時や、解体工事の杭抜き時などに大きな音が出る見込みです。大きな音が出る作業の際には、特に作業時間帯などの内容を学校と調整し、実施していきます。

5. 給食提供について

5-1 何故、自校給食ではなくセンター給食となるのですか

令和4年8月に決めました「今後の小学校給食の提供方式の方針」(概要：今後の小学校給食については、自校調理方式を基本としながらも、将来的な児童生徒数推移、小学校給食室の老朽化状況等を総合的に勘案し、給食センターからの配送方式を導入することとします。)を踏まえ、(仮称)西小倉地域小中一貫校では敷地内スペースの有効活用の観点も持ち、校舎内に配膳室を設け、給食提供方式は給食センターからの配送方式としました。

5-2 令和8年4月に給食センターの提供は間に合いますか

令和8年4月に給食提供が開始できるように、現在取り組んでいます。

5-3 給食センターでは食育はどのようにされますか

給食センター内に見学通路や、調理実習も可能となる献立試作室など、食育活動に活用できる施設を整備します。さらにICTを活用して学校と連携した食育の取り組みをすすめていきます。

5-4 アレルギーの対応はどうなりますか

現在小学校給食におけるアレルギー対応として、アレルギー物質を全て除いた除去食を1種類提供しております(主菜がアレルギー物質であるなど、その日の献立の大半を除かないといけない場合などは、お弁当の持参をお願いする場合があります)。

今般整備する給食センターにおいても、現在事業者を公募する中で、基本的には同様の対応が可能となる施設整備を求めています。同時に事業者からの更なる良い提案も求めている。運用の詳細については、提案内容も踏まえた上で調整していくこととなります。

5-5 小学生と中学生は同じ給食となりますか

これまで市内統一献立を実施してきた運用を基本としつつ、おいしい給食が提供できるように献立内容の検討をすすめます。

5-6 給食費はどのようになりますか

小学校給食費については、他の小学校と同じです。中学校給食費については、他市事例では小学校の20~30%程度高い金額を設定されるケースが多いと認識していますが、具体的には今後決定していきます。

5-7 給食の配送車が校内を通行する時に危険はありませんか

給食配送車が、校内を運行する際には、車両と児童生徒の交錯がないように取り組みます。具体的には、出来る限り配送時間を調整すること、また校内運行時は最徐行、必要に応じた人員による誘導を検討しており、今後の運用面においても、必要な安全対策を行っていきます。

5-8 給食はどのように教室まで運ばれますか

小学生は他の学校と同じく、教室前まで給食が運ばれてくる状況にすることを予定している。中学生は、4Fにパントリースペースを整備し、その場所を生徒の配食に活用することを予定しています。2F以上への移動については、エレベータの使用を予定しています。

6. 新しい施設整備の説明

6-1 回廊型校舎

校舎の中央に中庭を配置した校舎の形状です。校舎の内側（中庭側）が廊下となっており、廊下から中庭を見渡すことが可能です。

6-2 ZEB を取得した校舎

ZEB（ゼロエネルギービルの略）。（仮称）西小倉地域小中一貫校が目指す、ZEB Oriented は、複層ガラスの使用や、外壁の高断熱化により、省エネルギー化を実現し、従来工法の建物と比べ必要なエネルギー消費量を40%以上削減し、60%以下にする校舎です。

6-3 交流ホール（校舎棟1F）

1Fの中央に位置する交流ホールは、昇降口から入った先に位置し、開かれた広い空間であり、学級発表や吹奏楽部のコンサートなど、様々な多目的な活用が可能。また、中庭との一体的な利用により、イベントや屋外学習等にも活用。

6-4 ピロティ（アリーナ棟1F）

壁がなく開放的な半屋外の空間で、雨天時の部活動や体育などの活動場所や、部活動等で日影となる休憩場所としての活用。

6-5 ホワイエ（アリーナ棟1F）

廊下部分を広く取った空間で、雨天時の部活動や、芸術作品の展示、地域との交流など様々な用途に活用。

6-6 中庭（校舎棟1F）

交流ホールとの一体的な活用が可能であり、人工芝を敷き、子どもたちが自由に座ったり、寝そべったりしてくつろいで交流できる場。

6-7 メディアセンター（2F～4F）

2Fは主に小学校用図書を配置、4Fは主に中学校用図書を配置、3Fはグループ学習など様々な活動・対応ができるような空間とします。2F～4Fは一体活用可能であり、各フロアの空間は廊下との壁を無くすことで、開放的な空間となり、子どもたちが自然と本に触れる場所となります。普段から本が身近になる教育環境を創出し、またICT機器を利用して、課題を探究し、主体的かつ創造的で多様な調べ学習にも対応します。

6-8 コモンズ・教師ステーション（2F～4F）

コモンズでは、児童生徒の作品を展示・鑑賞・発信することで同学年・異学年の活動を身近に感じ、刺激を受け、仲間とのつながりを育みます。また、コモンズ内に教師ステーションを配置し、気軽に子どもと教師が触れ合い、交流を育みます。コモンズはメディアセンターと一体的な活用が可能で、グループワークの場所にもなります。また、様々な行事や委員会等も実施可能です。

6-9 普通教室(2F~4F)・ホワイトボード

ゆとりある教室では、タブレット端末を利用した学習や多正面学習、グループ学習など、動きのある学習により柔軟に対応できます。また、黒板をホワイトボード化することで、子どもたちにとって、文字の見えやすさと書きやすさが向上し、加えて、プロジェクターの映写が可能である事などICT機器を活用した新しい時代の学びを促進します。

7. その他の内容

7-1 これまでの説明会の開催状況は

令和4年度に策定をしました基本計画素案、基本計画、基本設計のそれぞれの段階で、保護者や地域の皆様への説明会、意見交換会を、各小学校や西小倉コミュニティセンターで実施をしてきました。

7-2 今後の説明会は

工事に関すること、学校運営に関することなど、保護者や地域の皆様へ、今後ご説明を行う内容はできます。説明できる事柄を整理した段階で、説明会という場を含め、HP や文書等で、引き続き皆様へご説明・お知らせをしていきます。

7-3 放課後に、育成学級や小学校の児童はどこで遊びますか

放課後、育成学級や小学校の児童は、屋外プレイエリアやサブグラウンドの使用を予定しており、メイングラウンド、テニスコートや体育館等の屋内のエリアの使用については、部活動の使用を踏まえ、学校と決めていきます。

7-4 サブグラウンドや北側のプレイエリア、中庭でボール遊びはできますか

各場所における運動内容や道具の使用等の運用面については、学校と決めていきます。

7-5 小学校の跡地活用はどのようになりますか

西小倉地域小中一貫校整備検討委員会の地域部会において、西小倉地域及び宇治市全体のまちづくりを見据えた小学校跡地の利活用方法を検討しています。今後、地域部会から整備検討委員会へ、まとめた内容の報告を予定しています。

その報告も参考にして、市で跡地活用についての方向性を決める予定です。

7-6 駐車場はどのようになりますか

東門から学校内へ入り、左折した場所（南側）に駐車スペースを確保いたします。原則、校内の駐車スペースはその場所となります。

7-7 学校開放はどのようになりますか

学校活動としての使用を優先にした上で、地域の活動状況等も踏まえた上で、学校開放施設・内容等を決めていきます。

7-8 子どもたちの意見をどのように活かしますか

令和5年7月に、西小倉小学校、北小倉小学校、南小倉小学校、西小倉中学校の児童生徒の意見交換（施設整備の説明・意見集約等）を行っており、児童生徒が前向きに不安なく過ごせるように、引き続き、令和8年4月の開校に向けての必要な整備・対応を行っていきます。

7-9 通学路はどのようになりますか

現在、西小倉地域小中一貫校整備検討委員会の学校部会・各校のPTA等が中心となって、(仮称)西小倉地域小中一貫校までの通学路の検討を行っており、令和5年9月を目途に、主要な通学路の案を決定する予定としています。

7-10 校名、校歌、制服などいつ頃決まりますか

令和5年度から、学校部会において、校名・校章・校歌・制服等についての検討を始める予定であり、校名は公募等を行い決める予定としています。令和6年度中に校名・校章、令和7年度中に校歌・制服等を決める予定としています。

7-11 現、北小倉小学校の卒業生は北宇治中学校へ進学していますが、令和8年以降も北宇治中学校へ進学することは可能ですか

一定の条件(兄弟が北宇治中学校に在籍)などを考慮した上での、指定校変更制度の実施について、検討を行っています。

7-12 部活動の種類はどのようになりますか

部活動の種類は、現在の部活動を基本として学校が決めることとしております。